



Health

健康づくり

行方市健康増進課（北浦保健センター内）

☎ 0291-34-6200

～ あなたの腎臓、だいじょうぶ？～

3月17日（土）に、レイクエコーにて、腎臓病市民公開セミナー『みんなで腎臓を守ろう！』が開催されました。261名の参加があり、会場はたくさんの方でにぎわいました。

なめがた地域総合病院、筑波大学病院、前田病院の先生方の特別講演とパネルディスカッションが行われました。

慢性腎臓病（CKD）という新しい概念が注目されています！

成人の8人に1人がCKD！
身近な病気です

慢性腎臓病とは・・・つぎのどちらか、あるいは両方が3カ月以上続く状態

- たんぱく尿がでている
- 腎臓のろ過機能が低下している
(クレアチニン値の上昇など)

健康診断
でチェック

1. 慢性腎臓病は、将来、透析を要する腎不全の予備軍です！

透析患者が増えており、日本には約29万人（国民439人に1人）、世界一の透析大国です。

2. 慢性腎臓病は、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患に対する重大な危険因子です。

心臓病や脳卒中といった循環器系の合併症を起こす危険が高くなります。

3. 慢性腎臓病推定患者数は、約1330万人、新たな国民病です。

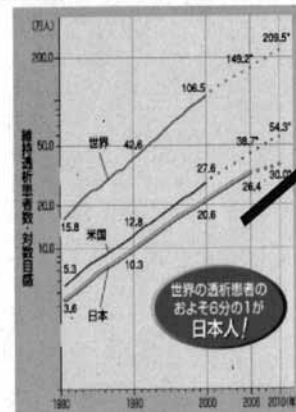
慢性腎臓病は初期には自覚症状がないため、自分が病気であることを知りません。そのため、必ず健康診断を受けて、腎臓の状態を確認することが重要です。

☆腎臓は一度悪くなってしまうと、もとに戻ることができません。

しかし、早期に発見すればするほど、進行を抑えられる可能性が高くなります。

大切な腎臓を守るため、健康診断を受けましょう！

世界、米国、日本で透析患者さんは増えている



日本脳炎予防接種についてのお知らせ

日本脳炎予防接種は接種後に重い病気になった事例があったことをきっかけに、平成17年度から平成21年度まで、日本脳炎予防接種のご案内を行いませんでした。その後、新たなワクチンが開発され、現在では3歳で初回接種（2回）・4歳で追加接種を通常通り受けられるようになっていきます。

行方市においては、この間に接種の機会を逃した方々への接種の機会を順次進めています。

平成24年度の積極的勧奨の対象者は

- ◆平成15年4月2日（小学3年生）～平成17年4月1日生まれ（小学2年生）で1期接種が不足している方（予診票をお送りしました）
- ◆昨年初回接種（2回）を受けたお子さんは2回目から 1年経過後に 追加接種を受けましょう。（予診票は既にお送りしております）

- (1) 1期接種の機会を逃した方（平成17年4月2日～平成19年4月1日生まれ）への1期接種は、ワクチンの供給量も踏まえつつ、次年度以降にご案内する予定ですが、希望がある場合は定期予防接種を行うことができます。
- (2) 2期接種の機会を逃した方（平成7年6月～平成12年度生まれ）へのご案内については未定ですが、希望がある場合は9歳以上であれば、定期予防接種を行うことができます。
- (3) ご案内の対象となっていない場合でも、平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれで、1期・2期の接種が終わっていないお子様は、20歳未満までの間、接種を受けることができますので、希望する方は北浦保健センターにお問い合わせください。